

令和5年度兵庫教育大学教員研修プログラムシラバス

講習ID	2323												
講習名	国語科授業における多様な教材の開発と活用②												
講習活用区分	☐	自主研修	☐	中堅教諭等資質向上研修（兵庫県、神戸市、堺市）									
実施日時	令和5年8月24日（木） 9:00～16:25											振替対応	無
募集人数	25人			最少開講人数	12人								
受講料	2,500円												
実施形態・会場	対面型 神戸キャンパス												
対象校種	☐	保育士	☐	幼稚園教諭	☐	小学校教諭							
	☐	中学校教諭	教科指定：	有	国語			☐	高等学校教諭	教科指定：	有	国語	
	☐	特別支援学校教諭	☐	養護教諭	☐	栄養教諭			その他対象：		☐		
対象職位	☐	若手	☐	中堅	☐	ベテラン		☐	学校管理職	☐	トップリーダー		
担当講師	講師1 氏名： 児島 啓祐 所属： 兵庫教育大学												
	講師2 氏名： 所属：												
	講師3 氏名： 所属：												
到達目標	国語科における新しいタイプの教材に視野を広げるとともに、活用の事例を体験することを通して、教材開発と教材活用のスキルを高める。												
講習目的・内容	古典教育に関する講習です。教科書の古文は活字で印刷されたものですが、もともとは和紙に墨と手書きで記されたものでした。原本のかたちを見ることにこだわってみますと、普段とは異なる視点からの古典の授業展開が拓かれます。具体的には〈鳥獣戯画〉〈平家物語の祇園精舎〉〈源氏物語の桐壺巻〉〈蒙古襲来絵詞（元寇における竹崎季長の奮戦）〉をとりあげて、古典教育のなかで原本にふれることの意義について考えてみます。												
講習計画	【時間】				【内容】								
	9:00		～	9:05	オリエンテーション								
	9:05		～	10:35	古典の〈かたち〉とふれあう授業づくり入門：くずし字教材の探し方、活かし方								
	10:45		～	12:15	原本に出会うことで拓かれる古典の授業：鳥獣人物戯画・蒙古襲来絵詞を読む								
	13:15		～	14:45	原本で読むことの意義①：『平家物語』『祇園精舎』を読む								
	14:55		～	16:25	原本で読むことの意義②：『源氏物語』桐壺巻を読む								
			～		アンケート								
			～										
			～										
			～										
受講者の方へ	・新型コロナウイルス感染症対策として定期的な換気・手指用消毒液の設置・ソーシャルディスタンスの確保等の感染症対策を講じて実施しますが、対面型の講習受講に不安がある場合には、受講はお控えください。 ・ラーニングポイントの対象となる講座です。ラーニングポイントを希望する方は、「国語科授業における多様な教材の開発と活用①」と「国語科授業における多様な教材の開発と活用②」の両方を受講すると、令和6年度の「初等国語科教材研究・授業づくり」の単位に充当できます。ラーニングポイントを希望されない方は、いずれか一方のみの受講で構いません。 ・基本的には筆記用具があれば大丈夫です。紙媒体の資料を持参しますので、ノートPCやタブレット端末等は講習では使用しませんが、各自で必要があればご持参ください。資料をカメラ等で撮影いただいても構いませんので、必要があればお持ちください。 ・当日の服装についてです。和本にふれていただいたり、巻物をまいていただいたりしますので、そのときだけでも結構なのですが、指輪や腕時計のような金属製のものは外していただければ幸いです。可能であれば、ネイル等も避けていただければありがたいです。												
その他													